

1. 監査結果概要

監査対象		G N F - J	メロックス社
監査期間		平成 2 2 年 7 月 1 6 日	平成 2 2 年 9 月 8 日～9 日
実施体制※		監査リーダー 1 名、監査員 6 名	監査リーダー 1 名、監査員 4 名
監査方法		文書・記録の確認、現場確認等	
確認項目	品質保証	品質マネジメントシステムの国際規格である I S O 9 0 0 1 に基づく、品質マニュアルの作成・維持、文書・記録の管理等の仕組みを構築している。	
	教育・訓練	○業務毎に必要な力量を設定し、教育、認定を実施している。 ○メロックス社に派遣する要員に対し、製造工程毎に、M O X 燃料仕様、検査要領、燃料タイプの違い等について教育を実施している。	○業務毎に必要な力量を設定し、教育、認定を実施している。 ○日本でのプルサーマルを取り巻く環境や日本固有の検査・監査の内容についての教育を従業員に対して実施している。
	コミュニケーション	○現地に責任者を常駐させ、いつでもメロックス社と打合せを行えるようにしており、加工の進捗状況等は、毎日、メロックス社から連絡を受けている。 ○燃料体製造期間中は毎日、メロックス社駐在事務所と G N F - J 工場間で会議を実施し、懸案事項のフォロー、コミュニケーションを図っている。	○掲示板、社内報、イントラネット等を介して品質目標、改善活動の周知等の内部コミュニケーションを図っている。 ○経営者と従業員とで朝食ミーティングを実施し、従業員に対して品質目標への関心を高めさせている。
	製造管理	○実際の部材または模擬部材を用いたメロックス社の製造工程の認定試験を実施し、製品品質が確保されることを確認している。 ○製造期間中、メロックス社に常駐し、製造工程および検査に立ち会うとともに、定期的な巡視等を行うこととしている。	○G N F - J の要求事項に応じて、製造工程の認定試験を実施し、G N F - J の承認を得ている。 ○システムにより常時製造工程を管理しており、誤った手順書の適用、作業ステップの間違い等の人的ミスを防止する仕組みが整備されている。
	データ管理	○メロックス社に対し、全ての製造・検査工程に関するデータの履歴管理を要求し、識別管理の仕組み等が整備されていることを確認している。 ○メロックス社に対し、検査データの不正防止策等を要求し、管理方法が妥当であることを確認している。	○システムにより全ての製造・検査工程の履歴管理を実施し、製品品質の検証を可能としている。 ○検査データが人の手を介さず自動的に測定、記録されるため、データの改ざん防止が図られている。 ○検査データの読み出し、書き込みの権限を個別に与えることによりデータの漏えい・破壊の防止を図っている。

※監査員は、ISO9001 内部監査員教育を受講しています。

2. その他

G N F - J 本社工場内で発生した発火事象に伴う再発防止対策（不適合管理等）が実施されていることを確認した。